

21018 社会福祉施設ソーシャルワーク論 Studies in Social Work at Social Welfare Facilities		3 年次～ 通年 4 単位	
担当者	矢野 明宏	履修可能学科	E Pe Pc C W F N
		関 連 資 格	
サブタイトル	これからの社会福祉施設ソーシャルワーク実践を考える。		
授業内容 ・ ねらい	わが国の社会福祉実践においては、長らく施設での支援が主流でしたが、2000年の社会福祉法の改正などにより地域福祉への関心が高まり、コミュニティワークの実践が多様に展開されるようになりました。 そこで、この授業では従来の社会福祉施設でのソーシャルワーク実践について学ぶとともに、地域に根ざした社会福祉施設のあり方、社会福祉施設ソーシャルワーク実践のあり方について展望していきたいと考えています。 なお、講義だけではなく、受講生による事例検討も加えていきたいと思います。		
授業計画	第1回 オリエンテーション 第2回 社会福祉施設発達史 (1) 第3回 社会福祉施設発達史 (2) 第4回 社会福祉施設発達史 (3) 第5回 日本の社会福祉施設の歴史 (1) 第6回 日本の社会福祉施設の歴史 (2) 第7回 現在の社会福祉施設の体系 (1) 第8回 現在の社会福祉施設の体系 (2) 第9回 現在の社会福祉施設の体系 (3) 第10回 施設におけるソーシャルワーク実践 (1) 第11回 施設におけるソーシャルワーク実践 (2) 第12回 施設におけるソーシャルワーク実践 (3) 第13回 施設におけるソーシャルワーク実践 (4) 第14回 施設におけるソーシャルワーク実践 (5) 第15回 前期まとめ 第16回 施設におけるソーシャルワーク実践 (6) 第17回 施設におけるソーシャルワーク実践 (7) 第18回 施設におけるソーシャルワーク実践 (8) 第19回 施設におけるソーシャルワーク実践 (9) 第20回 施設におけるソーシャルワーク実践 (10) 第21回～第29回 事例研究 (学生による発表) 第30回 総まとめ		
教科書 参考書	教) 特にありません。 参) 適宜紹介します。		
評価方法	試験、発表、リアクションペーパー、レポート等を総合的に勘案し、評価します。		
事前準備学習 履修条件等	正当性のない遅刻、欠席はしないこと。		